

みんなの中間報告 発表します

このコーナーでは、
7月から2月に行われた
皆さんの活動の様子を
ご報告します。

PART 2 これからまちづくり活動をはじめよう! はじめの一歩 助成部門

これから福祉のまちづくり活動始めるグループの、翌年以降の「パートナーシップ活動助成部門」への企画提案を目標とした、準備段階にあたる活動を対象とした部門です。
(地域の課題解決のための調査・学習、仲間づくりの活動等)



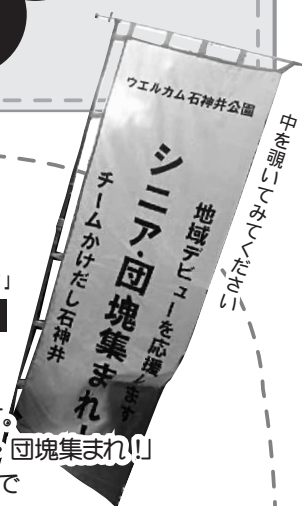
ぜひ遊びに来てほしいです

● チームかけだし石神井
「地域福祉活動参加のポータルサイト」
= 気楽にお試し = **助成金額 5万円**

団塊の世代の地域デビューをサポートするために様々な活動にお試し参加できる仕組みを提供しています。石神井公園駅の南口の商店街を歩いていると「シニア・団塊集まれ!」ののぼり旗があります。男性はなかなか扉を開かないので置いてみました。ここはチームかけだしの拠点でもある相談情報広場「ウェルカム石神井公園」です。様々な人や情報が集まる実に魅力的な場所です。ボランティアと身構えず、外に出るきっかけがほしい・自分の趣味を活かしたい... と思っている方も多はず。ちょっとしたしたきっかけや、出会って人それぞれにある「楽しい」活動を見つけたり、生み出したりできるかもしれません。



先日は3人と2人の男性が来て、これがきっかけでパソコンの講習会を行うことになりました。これからの広がりも楽しみです。



● ユニバーサル・コミュニティ豊セン **助成金額 5万円**
「ユニバーサルな社会を目指す、豊セン」

豊玉高齢者センターの利用者が作るボランティアグループの「ユニバーサル・コミュニティ豊セン」は、1月28日に2回目の清掃活動を行いました。前回よりも多い38名の参加者で、豊玉高齢者センターから平成つづ公園の往復を3班に分かれて清掃しました。当日は天気にも恵まれ、途中の休憩地点の平成つづ公園では、梅の蕾がほころびかけており、春の訪れを感じました。そして、今回は健康作りサポーターの「ラッキーセブン」の方々が豚汁を作ってください、清掃終了後、調理実習室で温かい美味しい豚汁を皆でいただきました。次回は、桜の季節に、お花見を兼ねて清掃活動を計画しております。次回は健康作りサポーターの「食のサポーターねりま」の方々がお弁当を作ってください。このように私たちは、まず自分達が楽しんで、健康作りをしながら我が街「練馬」に地域貢献できる活動を今後も続けていきたいです。 世話人一同



メンバーの皆さんです

PART 3

まちの課題解決! パートナーシップ活動助成部門 地域活動

福祉のまちづくりの課題解決のための地域活動、計画づくり、情報発信、調査、社会実験を対象とした部門です。

● 練馬地域福祉ハートフルアクターズ **助成金額 9万円**
「思いやりのある楽しいやさしいまちづくり」
7-9まちのプチカレッジ開催

世田谷区の見学会にて

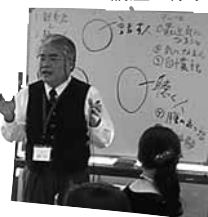


このプチカレッジはすでに地域福祉活動をしている人たちが、立ち止まって「自分たちの活動の意義を考えてみよう」というのがねらいです。中島先生(社会事業大学講師)による地域福祉基礎講座や障害者地域生活支援センターきららと地域との連携など話を聞く「座学」、既に地域拠点による活動をしている世田谷区・横浜市の「見学会」を開催しました。座学は、働いている人でも参加できる19時から、和やかにを行っています。

● 練馬市民相談ネット
「地域での相談の受け方・つなぎ方」 **助成金額 20万円**

練馬市民相談ネットは「何でも相談」「ちょこっとサービス」を通して、地域の中での支えあい、助け合いを実践している市民のネットワークです。職場や暮らしの中で役立つ市民相談の講座を毎年開催していますが、今年は練馬区の区民活動支援事業「福祉のまちづくりパートナーシップ活動」の助成を受けて、「相談の受け方・返し方の基礎となる姿勢」や「傾聴の意味」などをテーマに連続講座(全5回)を開きました。最初は表情の硬かった受講者の皆さんでしたが、講師の先生方の実践を通じた具体的なお話をつながいながら、回を増すごとに和気あいあいと会話されていたのが印象的です。講師からも「講座を受けて気づいたことを、日常的な会話の中で生かして使ってほしい」とのお話がありました。実践を通して「地域のみんで支えあうまちづくり」をみんなでつくっていきましょう! 次回もぜひご参加ください。

講座の様子



専門家からアドバイスをもらおう!

希望する提案グループには、予算の範囲内で企画の実現性を高めるためのコーディネーター、設計士等の技術面での専門家や、学習会の講師などの派遣をします



● 栄町・桜台民生児童協議会まちマップ委員会
「栄町・桜台子育て支援マップ」 **助成金額 20万円**

集めてきた栄町・桜台の情報をマップにするため、デザイナーの松井さんにマップづくりの話し合いの場をいただきました。

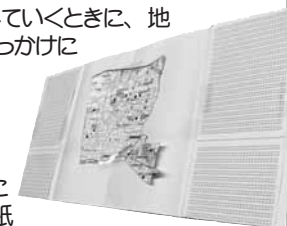


デザイナーの松井さん

当日メンバーの皆さんが集めてきた情報は、公園情報、児童館にいるお母さん達に聞いた店舗情報、病院の情報、それに親子で遊びに行けたりや困ったときに相談できる施設やお散歩の時に通りたい景色のいいところなど、子育てに役立つたくさんの情報。さすが民生児童委員のみなさんです。「さあ、これをどうマップにしていこうか!」今日の目標(誌面への割付)を確認したら、松井さんのアドバイスのもと、①まず、各場所の情報について、何を載せていきたいかを枚ずつ紙に書いていきます。「この施設は、乳児向けのイベントを紹介したいね」「お散歩のポイントは地図にアイコンや写真があればいいね」など。



②次に地域の情報の他に表紙のインロダクションやお問合せ先なども大事な情報。どんな情報を入れたいですか? 「このマップを渡していくときに、地域の方と繋がるきっかけにしたいですね」



③そして、実際に印刷する大きさの紙に、情報の紙をレイアウトしていきました。「ズラッと施設名と文章が並んでいるより、ここは何ができる場所が明確にわかるといいですね。」みるみるうちに、たくさんの情報が、マップを見る人の気持ちを考えたマップになっていきます。「こうして当てはめていくと、イメージが湧いてくるわね。」とメンバーのみなさん。これから、どんなマップになるか楽しみです。